

釜石市・ディーニュ・レ・バン市 両市長電話会談
平成23年8月25日

【長澤秀一在マルセイユ総領事館首席領事（以下「首席領事」）】

今、ディーニュ・レ・バン市から話しております。在マルセイユ総領事館の長澤です。

【野田武則釜石市長（以下「釜石市長」）】

はい、先ほどはどうぞも。

【首席領事】

今私の横に、ディーニュ・レ・バン市のグロアゲン市長がおりますので、グロアゲン市長に変わります。お願いいたします。

【セルジュ・グロアゲン ディーニュ・レ・バン市長（以下「ディーニュ市長」）】

野田市長、こんばんは。

私は野田市長と電話が出来ることにとても感動しています。

釜石市の状態を聞いて、すぐ在マルセイユ総領事館と連絡を取りました。

【釜石市長】

今、お話しされたのはグロアゲン市長さんでございませうか？

【首席領事】

はい、グロアゲン市長です。

【釜石市長】

どうも本当にありがとうございます。私は釜石市長の野田武則と申します。

今回、ディーニュ・レ・バン市の市長さんはじめ、市民のみなさんから大変温かいご支援をいただきました。大変感謝をしております。

【ディーニュ市長】

釜石市の状態を理解してから、自分のできる範囲は限られても早くなんとかしようと思ひ、ディーニュ市の各協会とディーニュ市民の力を結集し、なんとかしようと思ひていました。

金銭的事務だけではなく、我々がなにをしてあげることが出来るかを考えていました。

【釜石市長】

ディーニュ市のみなさんとは、17年前に姉妹都市を提携をさせていただきました。

それ以来、ずいぶんと交友を重ねて来ましたが、ここ数年少しご無沙汰をしておりました。

そういう最中に今回こうした震災を受けたわけでございませうが、現在釜石市では、亡くなられた方が880人、行方の分からない方が286人と、大変多くの方が犠牲になっておられます。

そのような状況にあつて、こうしてディーニュ市のみなさんが釜石のために支援をしていただいているということをお聞きし本当に感謝をしております。

お金もさることながら、遠く離れたみなさんが釜石のために温かいご支援をしていただいているということが、我々にとって大変心強いものがございませう。

どうぞ今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。

【ディーニュ市長】

地震と津波があり本当に大変だったことと思います。

姉妹都市として釜石市とディーニュ市の間にある縁を、心から続けていきたいと思いをします。

また、釜石市をはじめ日本のみなさまはすごい頑張っていると思います。

釜石市がして欲しいことで、ディーニュ市がお手伝いできることがあれば、共にこの試練を乗り越えて行きましょう。できることがあれば絶対に教えてください。

また、手伝えることだけでなく、姉妹都市の縁、絆を深めるように、技術やお互いの力を結集していきたいと思っています。

それらができれば、釜石市とディーニュ市、お互いにいい影響を与えたいと思います。

【釜石市長】

はい、ありがとうございます。

17年前に姉妹都市となったわけですが、その当時の釜石市長は実は私の父親でございます。

その関係もございまして、ディーニュ市のみなさんとは今後も継続して、姉妹都市として交流を深めていきたいと思っています。

また、今回このような形で大変温かいご支援をちょうだいしたことは、釜石市としても忘れることはございません。

今後ともディーニュ市と釜石市の交流のために何ができるか、あるいはどうしたらいいかということをもう少し調査をしながら、場合によってはディーニュ市に担当職員を派遣しながら協力関係を継続していけるように努力をさせていただきたいと思っています。

現在、釜石では避難所で生活していた方々がやっと仮設住宅に入ることができました。

二度とこのような被害が起こらないような、災害に強い都市構造に抜本的な転換をするため、これから街づくりに取り組んでいます。

国の支援をいただきながら、何とか早い段階で復旧・復興が出来るようにこれからも努力をしていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

【ディーニュ市長】

いろいろ情報をお知らせしていただきありがとうございます。

ディーニュ市としても姉妹都市関係を強めたいと思いますし、文化的にも交流を続けたいと思います。

姉妹都市を提携したとき、自分は市長ではありませんでしたが、自分もその時から応援しましたし、今でも心から応援していますので、よろしく願いいたします。

釜石市とディーニュ市は距離がありますが、釜石市の代表団がディーニュ市に来ていただくよう、ぜひお願いいたします。

可能であれば、釜石市にディーニュ市の代表団を送りたいと思います。

【釜石市長】

17年前、「アンモナイト壁」のレプリカをいただいたわけですが、それは今でも釜石の主要な観光施設の中に飾っております。釜石市民もそれを見学しております。

そういうことから、ディーニュ市のことを、大方の釜石市民が承知しております。

ただ、先ほどグロアゲン市長がおっしゃったとおり、少し距離が遠いということも

あつて、ここ数年交流が途絶えておりましたけれども、精神的なつながりについては、なんら問題はございませんので、これからは実質的な交流をもっと深められることを我々としても望んでいるところでございます。

そういうことからディーニュ市の持っている文化的なもの、あるいは産業など、もう少し我々の方も情報をいただき、釜石市の持っているものと比較検討しながら、お互い交流を深め、両市にとってプラスになるような、そういう交流の仕方をしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【ディーニュ市長】

温かいお言葉ありがとうございます。

「アンモナイトの壁」をもし新しくしようと思っていたら、ディーニュ市はぜひ手伝いたいと思いますので、遠慮なさらずおっしゃってください。

今後、姉妹都市関係を深めるため、在マルセイユ日本国総領事館を通じてもっとがんばりたいと思います。

まだやるべきところ、完璧なつながりを創るためにまだがんばらなければならないところは結構ありますけど、釜石市とディーニュ市ならできると思います。

経済的には、釜石市と比べるとディーニュ市はそれほど工場もなく、経済的に発展しているところではないかもしれませんが、技術的とか文化的にはいいところがあるので、ぜひよろしく願いいたします。

今年、90回目のラベンダー祭りで、ディーニュ市は釜石市の支援ブースを設置して、釜石市はどういう町なのかをディーニュ市民に教えるため釜石市の写真や情報を載せました。

これからも姉妹都市の提携を深くして強めるためにがんばっていきたいと思います。

【首席領事】

30分になりますので最後の言葉をおねがいします。

【釜石市長】

本当にグロアゲン市長、そしてディーニュ市民のみなさんに心から感謝と御礼を申し上げます。

ディーニュ市の広報が釜石に届いておりまして、みんなでそれを見させてもらっております。

ディーニュ市のみなさんが釜石市を大変心配してくださってるということを痛切に感じております。

「アンモナイトの壁」のこともそうですが、これからももう少しディーニュ市の文化とか産業についても勉強させていただきながら、ディーニュ市の持っている素晴らしいものを、ぜひ釜石市に紹介させてもらいたいと思っております。

今日はラベンダー祭りということでございましたけれども、どうぞラベンダー祭りが成功されますことをご祈念を申し上げまして御礼の言葉に代えさせていただきます。

どうぞこれからもよろしく願いいたします。本当にありがとうございます。

【ディーニュ市長】

温かいお言葉ありがとうございます。

ディーニュ市長として野田市長と話ができたことは、本当に心から感動しています。

距離的には離れていますが、通信技術のおかげで近く感じれるということはとても嬉しいです。

このような提携と縁と絆があるのはとても嬉しいです。
今後も釜石市のみなさまに応援と支援を伝えていきたいと思っております。

【釜石市長】

どうも本当にありがとうございます。

グロアゲン市長のその温かい励ましのお言葉に大変感謝をいたします。

先ほどグロアゲン市長がおっしゃったとおり、電話でこうしてお話しが出来るということは、本当に、非常に親近感が湧いてきました。

これからもぜひ釜石の復興のために変わらずのご支援とご協力をお願いを申し上げます。

今日は本当にありがとうございました。ディーニュ市民のみなさんも本当にありがとうございました。

【ディーニュ市長】

野田市長、どうもありがとうございました。

【首席領事】

私は長澤ですけど、ラベンダー祭りに出席いたしました。

その中で、最初に私が指名されまして挨拶しろということなので、ディーニュ市のみなさまのご支援について、本当に心からありがとうございますということを申し上げます。

そのなかで特に強調したのが、みなさまのご支援が、これはもう本当に支援を越えて釜石市とディーニュ市は一つのですね、連帯のシンボルになるということを申し上げます。

釜石市はディーニュ市の支援を受けて、この困難を乗り越えて必ず復興するだろうと、そしてまた新たな繁栄を掴むだろうということを申し上げます。

日本は日の昇る国だと言われてますけども、きっと太陽はまた釜石から昇るということをお伝えおきました。

そして今私の前には、たくさんの地元のプレスの方がいますので、またこの言葉をプレスの方にも伝えたいと思います。

今日は夜遅くまで本当にありがとうございました。

【釜石市長】

かえって本当にありがとうございました。どうぞよろしく願いいたします。

【首席領事】

野田市長、この会場には盛大な拍手が鳴り響いています。